

清須市次世代校務 DX 環境整備に関する情報提供依頼  
(RFI : Request For Information)

清須市教育委員会  
学校教育課

## 目次

### 第1章 本事業の概要

1. 業務名
2. 目的
3. 期間
4. 対応方針
5. 対象範囲
6. 前提条件

### 第2章 要件

1. サービス機能要件
  - 1-1. ネットワーク統合
  - 1-2. 校務支援システム
  - 1-3. ゼロトラスト環境の構築
    - 1-3-1. アクセスの真正性に関する要件
    - 1-3-2. 通信の安全性に関する要件
    - 1-3-3. 端末・サーバの安全性に関する要件
  - 1-4. 校務用端末
2. サービス導入要件
  - 2-1. プロジェクト管理
  - 2-2. 要件定義・設計作業
  - 2-3. 構築・移行・試験作業
3. サービス提供要件
  - 3-1. 導入・移行・研修に関する要件
  - 3-2. アカウント・運用管理に関する要件
  - 3-3. 専用窓口（コールセンター）に関する要件
  - 3-4. 運用支援・報告に関する要件

### 第3章 その他

1. RFI に関する質問
2. RFI 回答の提出
3. 情報の取扱い
4. 連絡及び提出先

## **第1章 本事業の概要**

### **1 業務名**

清須市次世代校務 DX 環境整備に関する情報提供依頼

### **2 目的**

文部科学省が推進する GIGA スクール構想の下、清須市では校務 DX の推進を図るため、次世代校務 DX 環境の整備を検討している。その一環として、令和 7 年 3 月に「第 2 期 清須市学校教育情報化推進計画」を策定し、校務の情報化による事務効率化を基本方針の一つとして掲げている。

本 RFI では、次世代校務 DX 環境の整備に際して必要となる具体的な製品・サービスや費用に関し、専門的知見を有する事業者から幅広く情報を収集することを目的としている。特に、現行の C4th の利用を継続しつつ、学校からの要望を踏まえて最適な周辺システムの構築方法について情報提供を求めるものである。本 RFI で得られた情報は、今後の調達仕様の策定に向けた基礎資料として活用する。

### **3 回答期限**

令和 8 年 2 月 10 日（火）17 時まで

### **4 対応方針**

① 文部科学省が示す以下のガイドライン等を踏まえることを前提とする。

- ・ 次世代の校務 DX ガイドブック  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369\\_00002.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369_00002.htm)
- ・ 教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン  
[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm](https://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/zyouhou/detail/1397369.htm)
- ・ GIGA スクール構想の下での校務 DX について  
[https://www.mext.go.jp/b\\_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext\\_01385.html](https://www.mext.go.jp/b_menu/shingi/chousa/shotou/175/mext_01385.html)

② 情報提供依頼の内容には全て回答すること。

ただし、回答が困難な項目がある場合には、一部のみの回答でも可とする。その場合は、今後の参考とするため、回答が難しい理由をできる限り添えること。

### **5 対象範囲**

本 RFI の対象範囲は、文部科学省が示す「次世代の校務デジタル化を支える ICT 環境に係

る 5 つの要素（「次世代の校務デジタル化推進実証事業」成果報告会資料 p.5）」および、別紙 2「学校要望一覧」に記載されている学校要望である。

なお、校務 DX 環境全体のイメージは文部科学省の示すものに準拠し、（ア）～（オ）の個別詳細については、具体的な実現方法について回答を求めるものである。

対象範囲		対応要件
（ア）	ネットワーク統合	2 章 1-1
（イ）	校務支援システムと周辺システムのクラウド化	2 章 1-2
（ウ）	教職員用端末の 1 台化、 ロケーションフリーによる校務処理	アに含む
（エ）	ゼロトラストによるセキュリティ対策	2 章 1-3
（オ）	ダッシュボード整備・データ連携	イに含む
（カ）	その他（学校要望）	別紙 2

#### ※補足事項

- ・ 学習系ネットワークと校務系ネットワークは、現行では論理的に分離している。
- ・ 教職員用端末については、学校からの要望を踏まえ、端末を 1 台に統合せず iPad と Windows を併用することで、ロケーションフリーを実現する。
- ・ ゼロトラストネットワーク環境の整備が含まれる。
- ・ Office ソフトウェアについては、Microsoft 365 の継続利用を想定している。
- ・ ダッシュボードに関する指定はない。
- ・ 見積りの参考として、イニシャルコストおよび 5 年間の運用コストの合計を、約 10 億円から 14 億円程度（税込）の範囲で想定している。ただし、当該金額は予算の承認または確定を意味するものではなく、確約するものではない。

## 6 前提条件

- ① 運用サービスまで含めた IaaS または SaaS 相当のサービスを提案すること。
- ② 利用する学校数及び教職員数、児童生徒数は下表のとおりとなる。

#### ※令和 7 年 5 月時点

学校数	12 校（小学校 8 校、中学校 4 校）
教職員数	408 人
児童生徒数	5,804 人

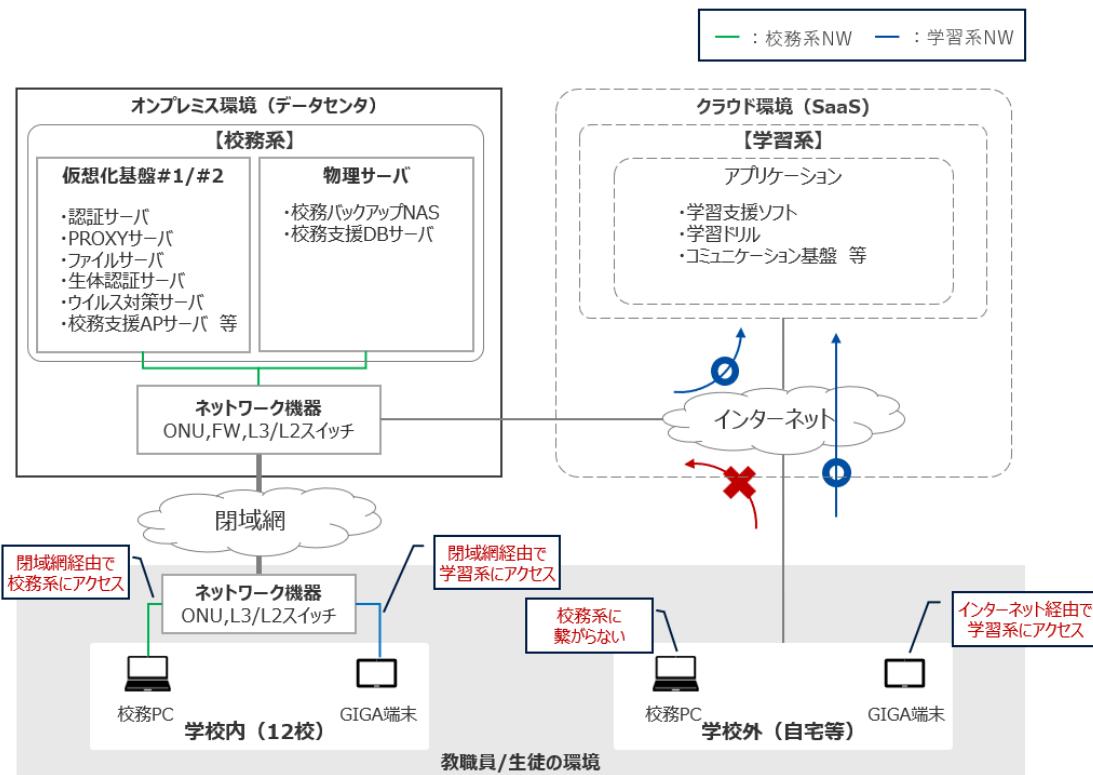
③ スケジュールについては、令和9年9月の運用開始を想定している。

## 第2章 要件

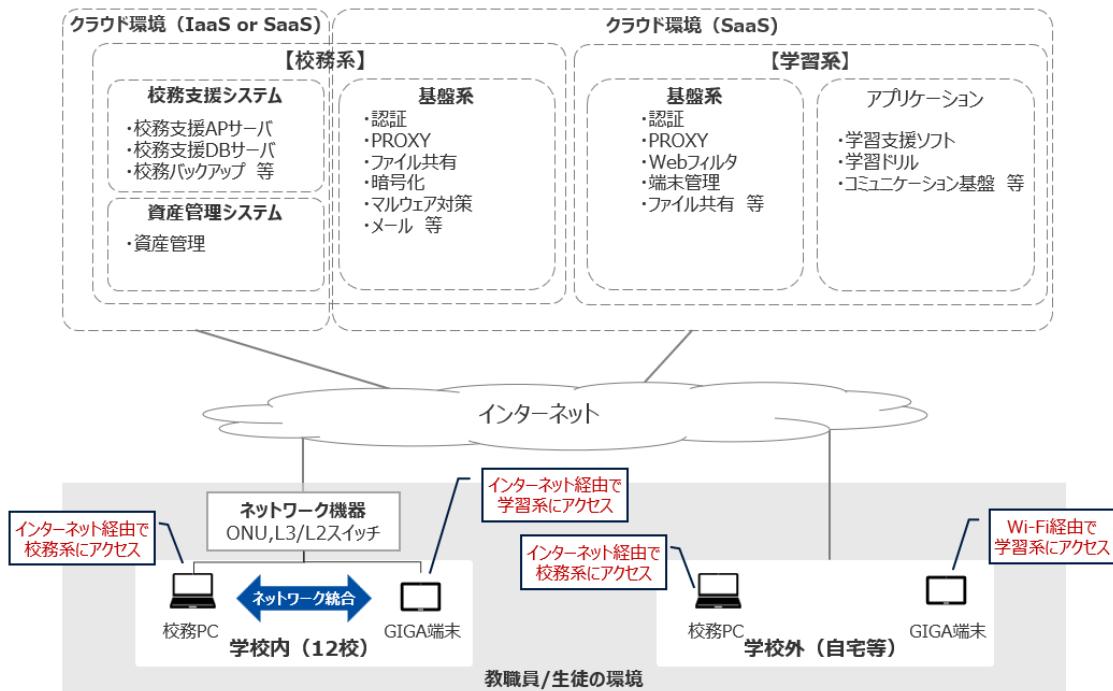
### 1. サービス機能要件

#### 1-1. ネットワーク統合

【AS-IS：ネットワーク全体像（オンプレ/閉域網）】



## 【TO-BE：ネットワーク全体像（クラウド）】



- ① 小中学校（12校）を対象に、10Gbps のベストエフォート型インターネット接続回線を新設し、校務系ネットワークと学習用端末系ネットワークを統合したネットワーク環境を構築すること。

### 【技術要件】

- IPoE 方式であること。
- IPIP/MAP-E 方式を採用していること。
- MAPS(Microsoft Azure Peering)に対応していること。

- ② ネットワーク統合に向けて、現行ネットワーク機器（ファイアウォール、無線アクセスポイント、L2スイッチ）に対する設定変更を実施すること。

### 1-2. 校務支援システムに関する要件

株式会社 EDUCOM の「EDUCOM マネージャーC4th」は、クラウド環境で利用できることを前提とする。現行ではオンプレミス版を使用している。また、保護者連絡機能「totoru」との連携を想定している。

なお、C4th の機能は以下のとおり。

【基本機能】

項目番	機能名	現行	次期
1	教職員名簿	○	○
2	児童生徒名簿	○	○
3	アカウント API 連携 (児童生徒・教職員)	—	○

【校務・教務支援機能】

項目番	機能名	現行	次期
1	出席簿	○	○
2	指導要録 様式 1	○	○
3	指導要録 様式 2	○	○
4	調査書	○	○
5	通知表	○	○
6	通知表レイアウトツール	○	○
7	給食実施簿	○	○
8	会議室	○	○
9	予定表	○	○
10	出張	○	○
11	出退勤	○	○
12	文書受理発送	○	○
13	書庫	○	○
14	授業の記録	—	○
15	個別指導の記録	—	○
16	C4P (出欠・いいとこ・座席・授業)	—	○

【連絡・情報共有機能】

項目番	機能名	現行	次期
1	連絡掲示板	○	—
2	個人連絡	○	—
3	文書連絡	○	○
4	連絡共有	—	○
5	totoru 連携	—	○
6	totoru 自治体発報	—	○
7	totoru 個別連絡	—	○

### 【保健・生徒指導・その他】

項目番	機能名	現行	次期
1	個人カルテ	○	○
2	いいとこみつけ	○	○
3	保健室利用	○	○
4	保健日誌	○	○
5	健康診断	○	○
6	ダッシュボード	○	○
7	備品管理	○	○

### 【帳票カスタマイズの範囲】

現在、カスタマイズを行っている帳票は44種類である。なお、当該数については、今後増減する可能性がある。

#### 1-3. ゼロトラスト環境の構築

本環境の構築にあたっては、「GIGAスクール構想の下での校務DXについて～教職員の働きやすさと教育活動の一層の高度化を目指して～」(以下「文部科学省資料」という)のうち、p.17の①-1～③-6に記載されている内容を準拠・準用するものとする。

なお、以下の要件を文部科学省が示す一定の技術要素をもって満たすことが本質であり、ゼロトラストについて言及するものではない。

##### 1-3-1. アクセスの真正性に関する要件

###### ① 多要素認証（該当：文部科学省資料 ①-1）

知識認証（ID 及びパスワード等）、生体認証（指紋、静脈、顔、声紋等）、物理認証（ICカード、USB トークン、トークン型ワンタイムパスワード等）のうち、異なる認証方式2要素以上を組み合わせた仕組みを提案すること。ただし、ハードウェアトークン等の紛失リスクが発生する物に関しては、リスク対策を考慮して提案すること。

また、教職員はスマートフォン等の支給を受けていないため、その点も考慮すること。

###### ② リスクベース認証（該当：文部科学省資料 ①-2）

端末のIPアドレスや位置情報、使用されているWebブラウザ、アクセス時間が通常と異なる等の際にリスクを判定し、追加の認証を求める仕組みを提案すること。ただし、仕組み上、特定のIPアドレスからのみアクセス可能となるように構成する等、リスクベース認証が無くともセキュアな環境を提供できる場合は回答書に記載すること。

③ シングルサインオン（SSO）（該当：文部科学省資料 ①-3）

セキュリティが確保された複数のクラウドサービスを一回の認証でアクセス可能にするために、シングルサインオン（SSO）の仕組みを提案すること。

**1-3-2. 通信の安全性に関する要件**

① 通信の暗号化（該当：文部科学省資料 ②-1）

通信の秘匿性を高めるために通信又は通信経路を暗号化し保護する仕組みを提案すること。

② Web フィルタリング（該当：文部科学省資料 ②-2）

業務上、不適切なサイトやマルウェア感染やフィッシングサイト等危険なサイトへの通信をブロックする Web フィルタリングの機能を提供すること。

Web フィルタリングは、SSL 通信に対しても通信を復号化してチェックできる機能を備えていること。

③ メールフィルタリング（該当：メールを使用するため、弊社知見に基づき追加）

スパムメールやマルウェア感染、フィッシングメール、なりすましメール等の危険なメールを受信・送信することによるリスクを防止するため、これらの不正メールを検知し、隔離またはブロックするメールフィルタリング機能を提供すること。

**1-3-3. 端末・サーバの安全性に関する要件**

① モバイル端末管理（MDM）（該当：文部科学省資料 ③-1）

ソフトウェアの配信機能や各種セキュリティ機能を配信する等、端末のセキュリティを一元的に管理する機能を提供すること。

また、端末の紛失時にリモートからデータや端末の初期化ができること。

紛失時に備えて、端末の位置情報の取得もできることが望ましい。

管理対象は、教職員用端末とする。

② ファイアウォール（該当：ロケーションフリー実現のため、弊社知見に基づき追加）

端末の通信を制御するためにファイアウォール機能を提供すること。OS 標準機能で提供できる場合は、OS 標準のファイアウォール機能でも問題無いが、ポリシー及びログを一元管理できることが望ましい。

③ アンチウィルス（該当：文部科学省資料 ③-2）

コンピュータウィルスやマルウェア感染への対策として、既知のパターンファイル（マルウェア情報）からのマルウェアの検知・駆除する機能を提供すること。

④ データ暗号化（該当：文部科学省資料 ③-3）

端末内に保存されたデータを暗号化できること。

また、追加提案として、サーバ側システム等に保存された機微な情報を暗号化、もしくは、許可無く外部に送信することが出来ない仕組み等、情報漏えい対策があれば提案すること。

⑤ EDR（Endpoint Detection and Response）（該当：文部科学省資料 ③-4）

未知のマルウェアに対応するため、外部のシステムと断続的に通信を行う等の不審な挙動をするプログラムを検出し、感染した端末の特定や隔離、影響範囲、時系列での不正なふるまいの状況を一元的に把握することが可能な、感染の拡大を防止する機能を提供すること。

⑥ 外部デバイス制御（該当：USB の使用が残っているため、弊社の知見に基づき追記）  
USB メモリ等の外部記憶デバイスの利用制限ができる仕組みを提案すること。

また、システム移行の過渡期では、例外的に USB 利用を許可する必要性が生じることを考慮し、教育委員会から許可された USB デバイスであることを識別し、端末個別、または、許可されたユーザだけが USB デバイスを使える仕組みがあることが望ましい。

⑦ IDS/IPS（Intrusion Detection System/Intrusion Prevention System）（該当：文部科学省資料 ③-5）

事前に定義した不正アクセスパターンとマッチングすることにより不正なアクセスや攻撃を検知（IDS）または遮断（IPS）する機能を提供すること。

⑧ WAF（Web Application Firewall）（該当：文部科学省資料 ③-6）

インターネットと繋がっているサーバ（Web サーバ）への外部からの攻撃を検知し、防御する機能を提供すること。

OWASP トップ 10 のリスクに対応すること。

⑨ ログの一元管理（該当：インシデント発生時の対応に備え、弊社の知見に基づき追記）

端末操作ログ、M365 の監査ログおよびネットワークのログを管理できる仕組みを提案すること。ただし、本機能は運用開始後の運用・管理上の追加提案と位置付けるため、必須提案とはしない。なお、ログの保存期間は最低 90 日以上とする。

⑩ ストレージサービス（該当：クラウドサービス使用のため、弊社の知見に基づき追

記)

ストレージサービスについて、以下の機能を提供すること。

- 組織内外でのファイル共有を円滑に行うために、容量無制限のサービスを選定すること。なお、容量追加が必要なサービスを選定する場合は、容量の追加に当たって設定変更作業を含めた一切の追加費用が発生せずに利用できるサービスとすること。
- 管理者が監査ログやユーザのフォルダー及びファイルに対する操作ログを閲覧及びダウンロードできること。ログファイルは日時、ユーザアカウント情報を含めること。なお、ログデータは管理者や利用者による削除（一時的な取得停止含む）が出来ない仕様とし、契約期間中はアーカイブ等の作業を行わず最大7年間保管できること。

#### 1-4. 校務用端末に関する要件

- 校務用端末の見積対象台数は、408台とする。
- 基本仕様を以下に示す。

なお、下表に記載の内容以外についても、OSを問わず有益なものがあれば提案を求める

項目	内容	備考
OS	Windows 11 Pro(64bit)	納品時の最新バージョン
メモリ	16GB 以上	—
ディスプレイ	1920×1080 以上	校務の利便性を考慮し、十分な画面サイズを有すること
重量	約 1.05kg 程度	ロケーションフリーでの利用を想定し、過度に重くないこと
セキュリティ	タッチ式指紋センサー（Windows Hello 対応）、顔認証（Windows Hello 対応）用 Web カメラを標準搭載	多要素認証に対応可能であること

## 2. サービス導入要件

### 2-1. プロジェクト管理

- 本サービスの導入過程の経過、進捗状況を、定例会議（月1回以上）を通じて報告すること。また進捗報告書及び打合せ会議に際しては、内容を事前に提示するとともに、毎回、受託者が議事録を作成し、会議終了後、速やかに提出すること。
- 本サービスの提供を進めていくうえで必要となる関係部署、関係機関との調整用資料等の作成についても支援すること。なお、課題や資料を隨時共有すること。

- ③ 導入期間においては、必要に応じて検討会を実施し、スムーズなプロジェクト進行を図ること。また、仕様や要件の確認及び確定に関しては、必ず書面により行うこと。

## 2-2. 要件定義・設計作業

- ① 本サービスが円滑かつ迅速に導入・提供されるよう要件を元に設計を行うこと。
- ② サービス設計（基本設計、詳細設計、セキュリティ設計、移行設計、テスト設計、運用設計等）を実施すること。

## 2-3. 構築・移行・テスト作業

- ① 設計内容に基づいて、提供するサービスに必要な構築を実施すること。
- ② 現行の校務支援システムおよびファイルサーバに登録されているすべてのデータと設定を移行すること。
- ③ 各サービスのテストを実施すること。セキュリティ設計に記載のアクセス制御・データ分類・情報漏洩対策等については、設計通りに動作することをテストにて確認すること。
- ④ テストは、本番運用を行なう環境を用いて行なうこと。テストを行う際には利用者の影響を十分考慮した上で計画・実施すること。

## 3. サービス提供要件

### 3-1. 導入・移行・研修に関する要件

- ① 本稼働前に、1か月以上の並行稼働期間を設けること。
- ② 本稼働前に、教職員を対象としたシステム利用研修会を実施すること。
- ③ 本稼働後は、新任教職員を対象に、年1回以上の研修を対面またはオンデマンド形式で実施すること（5年間を想定）。
- ④ 現行の校務支援システムおよびファイルサーバに登録されているすべてのデータと設定を、移行対象とする。

### 3-2. アカウント・運用管理に関する要件

- ① 年次更新対応として、各システムのアカウント登録・変更・廃止および、グループ情報のメンテナンスを行うこと。

### 3-3. 専用窓口（コールセンター）に関する要件

- ① 平日の学校開校時間内に、各学校および清須市教育委員会からの問い合わせに対応可能な専用窓口を設置すること。  
なお、専用窓口の業務内容は以下のとおりとする。

- (ア) 導入機器のシステム全般に関する専用窓口を設置すること。
- (イ) 専用受付窓口では、教育委員会及び教職員からの問い合わせを可能とすること。
- (ウ) Web フォーム、メール及び電話による受付窓口を用意すること。
- (エ) 問い合わせについては CRM システムを用いるなどして、専用データベースにて一元化し、進捗管理を行うこと。
- (オ) 月に 1 回専用データベースから出力した問い合わせ内容を教育委員会へレポートとして提出すること。

### 3-4. 運用支援・報告に関する要件

- ① 運用支援作業として、以下の業務を実施すること。
  - (ア) 各種インシデント対応（専用窓口へ問い合わせを元に対応）
    - ・問い合わせ対応（導入機器のシステム全般）
    - ・リモート対応
    - ・オンサイト対応
  - ※重大障害発生時は、当日中に現地切り分け対応（システムの全停止等、緊急性を要するもの）を実施すること。
- (イ) アカウントの登録・変更・廃止作業
- (ウ) 各種手順書の作成

## 第3章 その他

### 1. RFI に関する質問

- ① 本 RFI についての質問は、以下のとおり。
  - ・ 受付期間：令和 8 年 1 月 19 日（月）～ 令和 8 年 1 月 26 日（月）17 時まで
  - ・ 質問方法：「別紙 3\_質問票」に記入し、電子メールで送信すること。
  - ・ 件名：「【RFI 質問】清須市次世代校務 DX 環境整備[会社名]」
  - ・ 質問先：「4. 連絡及び提出先」のとおり。
  - ・ 回答期限：令和 8 年 1 月 30 日（金）17 時まで

### 2. RFI 回答の提出

- ① 以下の（ア）、（イ）、（ウ）に従い、回答書を作成すること。
  - (ア) 回答概要資料（任意様式）

下表の内容を含めること。

章	項目	主な記載事項
1	基本方針	本提案依頼の目的を効率的、効果的かつ低コストで実現するための提案に係る基本的な考え方等
2	提案の全体構成	提案する次世代の校務 DX 環境の全体像
3	提案ソリューションの概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>提案する次世代の校務 DX 環境を構成するソリューションの製品名や特徴など</li> <li>提案する構成を採用した背景・理由、実現性など (例: Azure を導入する理由やメリット等)</li> </ul>
4	スケジュール	<ul style="list-style-type: none"> <li>設計・構築スケジュール</li> <li>リスクに対する対応策</li> </ul>
5	追加提案等	次世代の校務 DX 環境の整備に向けた追加の提案など
6	会社概要及び業務実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>会社概要</li> <li>校務 DX の類似業務に関連する主な業務実績など</li> <li>清須市または近隣市町における、学校用途以外の市役所等での職員用端末の導入・運用実績など</li> </ul>

#### ※補足事項

- 提案する上での前提条件があれば回答書に記載すること。また、要件に対して代替案が提案可能な場合は、前提条件と代替案を記載すること。
  - 現時点でリリースされていない機能等の提案も可とする。ただし、構築スケジュールやリリース予定時期を考慮して提案すること。また、リリース予定時期も記載すること。
  - 提案する各製品やサービスの内容が分かる資料（製品説明資料など）を別途、提供すること。資料については特段の制限がない限り PDF 化を行い別紙の形で添付すること。
- (イ) 学校要望への対応可否（「別紙 1\_学校要望一覧」により、提出すること）  
 清須市内全 12 校へのヒアリングをもとに、次世代校務 DX 環境の整備にあたり寄せられた要望を一覧化している。  
 本一覧において「御社のご提案」を記載した項目については、「(ア) 回答概要資料」にて全体像が分かるように記載すること。  
 ※Excel 形式のまま添付すること。

(ウ) 見積書（「別紙2\_見積様式」により、提出すること）

以下の内容を前提とすること。※Excel形式のまま添付すること。

初期費用とランニング費用の区分

- ・ 設計や構築にかかる初期費用と、稼働後のランニング費用に分けて提示すること。
- ・ 初期費用には、プロジェクト管理費用、要件定義、基本設計、詳細設計、構築、移行、試験費用などを含めること。

単価の記載

- ・ 単価が求められる項目は、可能な限り単価および単位（学校／教職員／児童生徒あたりなど）を記載すること。
- ・ 最低利用数が決まっている場合や、利用数により単価が変わる場合は、その旨も明記すること。

想定利用期間

- ・ システムは5年間利用する前提で見積を作成すること。

IaaS構築に関する費用

- ・ IaaS上に構築する場合は、通信費用も合わせて提示すること。

データ移行費用

- ・ 既存の校務支援システムからのデータ移行費用は、金額が分かるよう提示すること。

運用・コールセンター費用

- ・ 運用およびコールセンター費用は60か月（5年間）を想定すること。

② 上記①のとおり作成した資料の提出要領

- ・ 提出期限：令和8年2月10日（火）17時まで
- ・ 提出方法：電子メールにて送付すること。  
提出ファイルは、ファイルアップロードシステムのリンク送付も可とする。
- ・ 件名：「【RFI回答】清須市次世代校務DX環境整備[会社名]」
- ・ 提出先：「4. 連絡及び提出先」のとおり

### 3. 情報の取扱い

- ① 本情報提供依頼は、次期校務支援システムについて検討するために行うものであり、契約を前提としたものではない。
- ② 清須市へ提示した情報は、次期校務支援システムについて検討するために必要な範囲で利用する。
- ③ 本情報提供依頼に係る資料の作成、提出等に要する費用は事業者の負担とする。
- ④ 提示資料は、返却しない。
- ⑤ 提示資料の内容について、後日照会や追加の資料提供を依頼する場合がある。
- ⑥ 本情報提供依頼において、清須市から提供を受けた資料は、本情報提供依頼終了後に廃棄・消去すること。

### 4. 連絡及び提出先

各種書類の提出先、問い合わせは、以下のとおり。(両宛先にメール送付)

◇清須市役所教育委員会教育部 学校教育課総務係

メールアドレス : gakkokyoiku@city.kiyosu.lg.jp

◇三井情報株式会社

(清須市次世代校務DX環境整備に向けた基本計画策定業務の委託先)

担当 : 三井情報 校務DX担当

メールアドレス : kys-EDX-mki-dg@mki.co.jp